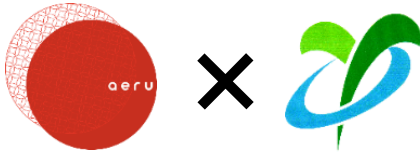


(報道発表資料)



令和7年1月15日
株式会社和える
山科区役所
地域力推進室 企画担当
Tel: 075-592-3066

株式会社和える×山科区役所

子どもの感性を育む「日本の伝統に触れるベビーリトミック」の実施

山科区では、「子育て、子ども・若者の育ちを地域で支える」を第3期山科区基本計画のテーマの一つとして、子育て世代の関心を高めるとともに、子育て世代から選ばれるまちとしての区のイメージ向上・定着を目指した取組を進めています。

この度、京都市定住・移住応援団(※1)である株式会社和える(※2)と連携し、乳児期のお子さまと保護者の皆様に、日本の伝統文化に触れ感性を育みながら、親子の触れ合いの機会を持っていただくことを目的としたベビーリトミック(監修: リトピュア式ベビーリトミック)を実施します。会場参加が叶わない方向けにオンラインでも実施します。

なお、本イベントは、公民連携プラットフォーム KYOTO CITY OPEN LABO(※3)を通じた連携事業です。

1 日 時

<現地会場>

- | | |
|--------------|---------------|
| ① 2月11日(火・祝) | 午後1時45分～2時30分 |
| ② 2月11日(火・祝) | 午後3時15分～4時 |
| ③ 2月18日(火) | 午後1時45分～2時30分 |
| ④ 2月18日(火) | 午後3時15分～4時 |
| ⑤ 3月5日(水) | 午後1時45分～2時30分 |
| ⑥ 3月5日(水) | 午後3時15分～4時 |
| ⑦ 3月26日(水) | 午前10時半～11時15分 |

<オンライン> ※リトピュア式ベビーリトミックのみとなります。

- | | |
|------------|-----------|
| ① 2月15日(土) | 午前11時～12時 |
| ② 3月1日(土) | 午前11時～12時 |
| ③ 3月15日(土) | 午前11時～12時 |

2 場 所 アスニー山科(〒607-8080 京都市山科区竹鼻竹ノ街道町9-2)

3 定 員 各回8組(先着順)

4 参加費 無料

5 対 象 山科区内に在住又は通園している
0歳児のお子さまと保護者、マタニティの方



6 内 容

①子どもの感性を育む！日本の伝統に触れるベビーリトミック（約 30 分）

（監修：リトピュア式ベビーリトミック）

リトピュア式ベビーリトミックで、音楽や運動の基礎を育み、集中力・創造力アップ！日本の暦や四季を取り入れた内容で、日本の伝統や文化に触れながら、楽しくお子さまの感性を育みます。

小さいお子さまでも参加しやすいよう、リアル教室に加え、オンライン教室も開催！胎教として、マタニティの方の御参加も歓迎です。



②子どもの感性を豊かに育むヒントとは？職人さんの手仕事に触れながら考える（約 15 分）

リトミックで楽しく身体を動かした後は、日本の職人さんが作った玩具で遊びます。山科区の職人さんによる手仕事にも触れながら、子どもの感性を豊かに育むヒントを、保護者の皆さまと一緒に考えます。和室の大広間で、玩具で遊んだり畳の上に寝転んだり、お子様それぞれのリズムに合わせ、自由にお過ごしいただけます。

7 申込み

各回の前日 13 時まで（オンライン回は 1 週間前まで）に申込フォーム
(<https://a-eru.co.jp/event/24683-2>) から申込み

お申込みはこちらから



8 問合せ先

- ・ 取組全般について
山科区役所地域力推進室企画担当（TEL：075-592-3066）
- ・ 子どもの感性を育む「日本の伝統に触れるベビーリトミック」の内容について
株式会社和える（担当：杉本）（E-mail：info@a-eru.co.jp）

※1 京都市定住・移住応援団とは

京都市の定住・移住促進に向けた取組に賛同し、応援いただける企業・団体等を「京都市定住・移住応援団」として募集しています。応援団では、「京都で働き、暮らし、子育てしたい」と、若い世代から選ばれる都市を目指して、各企業・団体等が持つアイデアやノウハウをいかし、公民連携で京都市への定住・移住の促進に取り組んでいます。

（URL）<https://www.city.kyoto.lg.jp/sogo/page/0000312984.html>

※2 【連携事業者】株式会社和える（代表取締役 矢島 里佳）

“0 歳からの伝統ブランド aeru” をはじめとした、先人の智慧と現代の感性を和えることで、日本の伝統を次世代につなぐ仕組みづくりに取り組んでいます。

「京都市定住・移住応援団（※1）」に登録の事業者です。

（URL）(<https://a-eru.co.jp>)

※3 公民連携プラットフォーム KYOTO CITY OPEN LABO とは

本市が抱える様々な行政課題その他の社会課題に対し、民間企業等から課題の解決に資する技術やノウハウ、アイデアなどを募集したうえで、課題提示部署と民間企業等が一緒になって、実証実験や具体的実践等により課題解決に取り組む仕組みです。

（URL）(<https://open-labo.city.kyoto.lg.jp>)